

再評価結果（平成 31 年度事業継続箇所）

担当課：都市局街路交通施設課
担当課長名：本田 武志

事業名	空港・港湾等アクセス道路 都市計画道路黒井藤野新田線		事業区分	街路	事業主体	新潟県																								
起終点	自：新潟県上越市頸城区西福島 至：新潟県上越市大字福橋				延長	L=0.9 km km																								
事業概要	本路線は、上越市にある重要港湾である直江津港を起点とし、新潟県南部産業団地を經由して国道 18 号を結び、関東、北陸、長野方面に連絡する広域的な環状道路である。																													
17年度事業化	平成 10 年度都市計画決定	19 年度用地着手	28 年度工事着手																											
全体事業費	54 億円	事業進捗率	58%	供用済延長	km																									
計画交通量	12,560 台/日																													
費用対効果 分析結果	B/C 2.3 (事業全体) 54 億円 (残事業) 47.5 億円	総費用 50 億円 50 億円 事業費：49 億円 維持管理費：0.60 億円	総便益 117 億円 117 億円 走行時間短縮便益 80 億円 走行経費減少便益：29 億円 交通事故減少便益：8.3 億円	基準年 平成 26 年																										
感度分析の結果	<table border="0"> <tr> <td>(事業全体) 交通量</td> <td>: B/C=</td> <td>~</td> <td>(交通量 ±10%)</td> <td>(残事業) 交通量</td> <td>: B/C=</td> <td>~</td> <td>(交通量 ±10%)</td> </tr> <tr> <td>事業費</td> <td>: B/C=</td> <td>~</td> <td>(事業費 ±10%)</td> <td>事業費</td> <td>: B/C=</td> <td>~</td> <td>(事業費 ±10%)</td> </tr> <tr> <td>事業期間</td> <td>: B/C=</td> <td>~</td> <td>(事業期間 ±20%)</td> <td>事業期間</td> <td>: B/C=</td> <td>~</td> <td>(事業期間 ±20%)</td> </tr> </table>						(事業全体) 交通量	: B/C=	~	(交通量 ±10%)	(残事業) 交通量	: B/C=	~	(交通量 ±10%)	事業費	: B/C=	~	(事業費 ±10%)	事業費	: B/C=	~	(事業費 ±10%)	事業期間	: B/C=	~	(事業期間 ±20%)	事業期間	: B/C=	~	(事業期間 ±20%)
(事業全体) 交通量	: B/C=	~	(交通量 ±10%)	(残事業) 交通量	: B/C=	~	(交通量 ±10%)																							
事業費	: B/C=	~	(事業費 ±10%)	事業費	: B/C=	~	(事業費 ±10%)																							
事業期間	: B/C=	~	(事業期間 ±20%)	事業期間	: B/C=	~	(事業期間 ±20%)																							
事業の効果等	本路線が上越都市圏のバイパスとして機能することで交通が分散し、国道 8 号の主要交差点や直江津市街地の朝夕ピーク時の渋滞緩和が期待される。																													
関係する地方公共団体等の意見	【上越市】 ・重要港湾である直江津港などへのアクセス向上による物流の効率化や、並行する国道 8 号の渋滞緩和、交通事故の減少が見込まれることから、早期の整備をお願いする。																													
事業評価監視委員会の意見	・特になし																													
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	・特になし																													
事業の進捗状況、残事業の内容等	・用地進捗率：86% 事業進捗率：58%																													
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	・全線にわたり地盤改良工事を行う必要があることから、用地取得と並行しながら施工可能な部分の工事を進める。																													
施設の構造や工法の変更等	・今後も新技術の採用、再生資材や現場発生土の有効活用を進め、工事コストの縮減に努める。																													
対応方針	継続																													
対応方針決定の理由	・地図混乱の解消に時間を要したものの、地権者の協力が得られており、用地完了後は工事を進捗させ、この区間の早期供用をめざす。バイパスの供用による上越市の国道 8 号及び直江津市街地の渋滞緩和の効果が大きいことから、事業を継続。																													

事業概要図



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。
※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。